



～たくさん入ったかな?～

(西保育園 うんどう会)

かみふるの 議会だより

第 87 号

2015年7月25日発行
発行 上富良野町議会

- 第2回定例会 いじめ防止条例を制定ほか 2
- ズバリ ここが聞きたい!! 一般質問4名の議員が質問! 6
- 「町のひと」にインタビュー! 12

条例を制定

6月定例会は6月15日から16日の2日間の会期で開催しました。いじめ防止条例のほか15議案を審議し、原案可決しました。

また、4名の議員が町長と教育長へ一般質問を行いました。

子ども達がのびのびと成長するために

「いじめ」は「いじめ」を受けた子ども、「いじめ」を行った子どもだけではなく、すべての子どもにも関係する問題です。

や身体に重大な危険を生じさせるものを未然に防止し、早期発見・早期解消などに対処するものです。

早期解決の支援、指導助言などに取り組みます。「いじめ」をなくし、将来のまちづくりを担う子ども達に対し、良い環境をつくるのが教育に係る人々の役割です。

町としても「いじめ」を防止するための基本理念を明らかにし、施策を推進するため、「上富良野町いじめの防止等に関する条例」の制定を議決しました。

「いじめ」をなくし、将来のまちづくりを担う子ども達がのびのびと生きる力を育み、感性豊かに安心して学べるより良い環境をつくるのが、教育に係る人々の役割です。

「いじめ」をなくし、将来のまちづくりを担う子ども達に対し、良い環境をつくるのが教育に係る人々の役割です。雄峰十勝岳のふもとに暮らす私たち町民は、豊かな自然環境の中で子ども達がのびのびと成長することを願い、この条例の制定を可決しました。

この条例は国の「いじめ防止対策推進法」の趣旨に基づき、「いじめ」が「いじめ」を受けた児童生徒の人格の形成などに重大な影響を及ぼし、生命

学校や児童生徒、町、教育委員会が一体となり、「いじめ」の生まれにくい環境をつくり、定期的な調査や相談体制を構築し、

質 疑

基本方針の策定は？

問

いじめ防止条例では細部についてはいじめ防止基本方針で定めると規定している。町の基本方針を参酌し、各学校のいじめ防止方針も改定される場合もあることから、早期に策定することが必要であり、いつ策定する予定なのか。

答

年内をめどに策定したい。学校いじめ防止基本方針については、2年前の法整備に伴い、教育委員会では各学校へ整備するよう指示している。町の基本方針に合致するよう見直したい。

おしえて!!

『いじめ防止基本方針』
ってな～に？

国の「いじめ防止対策推進法」に基づいて制定された「いじめの防止等に関する条例」の中で策定することが義務付けられ、いじめ防止の総合的、効果的な推進のため、基本的方向や対策の内容などが定められた方針のこと。各学校ごとにも策定することが義務付けられました。

いじめ防止



学校は「重大事態」が発生した場合に教育委員会を通じて町長に報告する。
この「重大事態」とは「いじめ」により児童などの生命、心身または財産に重大な被害が生じた場合や、相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるときのことを言います。



第1回臨時会（4月28日開催） 泉町南団地町営住宅新築工事 請負契約を締結

泉町南団地2号棟の新築工事発注の入札が執行され、請負業者と金額が確定されたことから、2億5920万円の工事請負契約の締結を可決しました。

一般会計補正予算の専決処分を承認

公営住宅整備に対して国からの交付金が年度間調整され、起債を受ける必要がなくなったため、地方債を廃止したほか、道営事業・基盤整備事業などの事業費変更に伴い、平成26年度一般会計補正予算の専決処分を承認しました。

平成27年度一般会計補正予算を可決

平成27年度当初予算に計上されていた事業で、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業に該当するため平成26年度予算に繰り上げされていた予約型乗合タクシー運行費や小児任意予防接種費などの予算を減額したほか、社会保障・番号制度の導入に伴うシステムの整備1460万3千円、経営体育成事業補助2034万1千円などを追加し、合計3370万8千円を増額する補正予算を可決しました。

第2回臨時会（5月27日開催）

上富良野小学校外構整備工事 請負契約を締結

上富良野小学校外構整備工事発注の入札が執行され、請負業者と金額が確定されたことから、6256万4400円の工事請負契約の締結を可決しました。

補正予算

一般会計補正予算を可決

主な補正内容は、平成26年度決算確定に伴う繰越金、及び特別会計決算確定に伴う繰入金、富良野・美瑛広域観光サイクリングルート整備に伴う負担金や、商業振興計画の策定、私立幼稚園を認定こども園に移行するための施設整備補助を増額しました。また、町営住宅泉町南団地整備に係る社会資本整備総合交付金の事業費を減額し、総額79億2748万6千円とする補正予算を可決しました。

■ 6月補正予算の状況 ■

会計名		補正額	総予算額
一般会計		3億5677万8千円	79億2748万6千円
特別会計	国民健康保険	1125万2千円	15億5306万4千円
	後期高齢者医療	46万9千円	1億3578万1千円
	介護保険	1915万7千円	9億631万4千円
	ラベンダーハイツ事業	194万8千円	2億9390万9千円
	簡易水道事業	69万3千円	8816万8千円
	公共下水道事業	208万1千円	3億8116万7千円
企業会計	病院事業	収益的支出	0円
		資本的支出	50万円
			9億5552万9千円
			5476万2千円

商業振興計画を策定する

事業費を追加

町内消費の減少、後継者不足などによる商業者の廃業や高齢化による買い物弱者の増加などの課題に対して、商業の現況などを把握するため、消費者や事業者の意向調査を行い、町や商工会、事業者など関係者の責務と役割分担など、取り組む項目を盛り込んだ商業振興計画を策定する事業費144万1千円が予算化されました。商業現況調査の事業主体は商工会で、計画策定委員の設置運営は町が行います。商業振興計画は平成28年3月までに策定します。

サイクリングコースの

表示などを整備

富良野・美瑛広域観光推進協議会（富良野・上富良野・中富良野・美瑛）では、4市町村の道道・市町村道に全長80キロのサイクリングコースを整備し、サイクリングツーリズムの促進と利用者の安全性、利便性の向上を図るために、関係機関・団体などが連携してサイクリングルートなどの整備（路面案内表示・拠点案内看板・自転車横断注意看板）を推進する事業費175万7千円が予算化されました。

財産

除雪トラックを更新

現在使用している除雪トラックは購入してから25年経過し、老朽化により維持費用が増えているため、防衛省の補助を受けて4082万4千円で更新を行います。この除雪

トラックは10トダンプに2種類の排雪板と路面を修正する装置が付くため、平成28年11月30日までが納期となります。



更新が予定されている除雪トラック

給食センター機器を更新

給食用の食器を消毒する消毒保管器の老朽化が著しく、不具合が発生しているため、3台を防衛省の補助を受けて798万1200円で更新します。

これにより、給食の安定供給と作業の効率化、衛生管理の徹底などを図ります。

上中の耐震改修、 老朽改修工事契約を締結

上富良野中学校の耐震改修と老朽改修工事の請負契約を締結しました。

この工事が完了することで町内の公立学校の耐震化率は100%となり、安心・安全な校舎となります。各工事の契約金額と契約先は次の通りです。

- ・ 建築主体工事 7億6464万円
（橋本川島・アラタ特定共同企業体）
- ・ 機械設備工事 1億4223万6千円
（有我・志賀・玉島特定共同企業体）
- ・ 電気設備工事 1億540万8千円
（東邦・田中特定共同企業体）

人事案件



原 喜美子さん（新）
中町1丁目

人権擁護委員候補者に原 喜美子さんを推薦する議案が提出され、全員賛成で適任と答申しました。

条 例

個人情報保護条例の 一部を改正

一部を改正

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（通称「番号法」）の公布により、この秋から個人番号の付番などがされ、平成28年1月から「マイナンバー制度」が始まります。

番号法で個人番号は個人を識別するための重要な特定個人情報と位置付けられ、行政事務手続きに活用する場合は、より厳格な管理や保護措置を講じるよう定められたため、「上富良野町個人情報保護条例」に必要な措置が追加されました。

個人番号の利用に 関する条例を制定

個人番号の利用に 関する条例を制定

番号法の公布・施行に伴い、行政では個人番号を利用して事務を行う場合、その範囲を条例で定めることとされています。

町では利用事務、かつ同一機関内で特定個人情報の授受を行う庁内連携の場合に限って個人番号を利用できるよう、「上富良野町個人番号の利用に関する条例」が制定されました。

報 告

振興公社の 経営状況を報告

振興公社の 経営状況を報告

町が出資している「株式会社 上富良野振興公社」の経営状況が報告されました。町から業務管理委託の4事業の決算状況と振興公社から町への寄付金は次の通りで、観光事業推進が着実に運営されています。

■町からの業務委託収入■

	平成26年度		平成27年度
	予算額	決算額	予算額
白銀荘	① 3,619,000円 ② 1,306,000円	① 3,254,207円 ② 1,305,720円	4,379,000円
オートキャンプ場	2,692,000円	2,492,573円	2,517,000円
スキー場	8,127,000円	7,525,001円	7,534,000円
日の出公園管理	15,679,000円	15,417,594円	14,517,000円
合計	30,117,000円	39,095,115円	28,947,000円

※①は白銀荘のみの委託、②は十勝岳温泉地区施設の維持管理委託

■平成26年度の振興公社の収益と町への寄付金■

・ 経常利益金額 4,631,747円 ・ 寄付金 4,300,000円

ズバリ ここが聞きたい！

一般質問



一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
7	村上 和子議員	① 空き家対策について相談窓口の充実や、法律に準じた条例の制定が必要では ② 町のエネルギー施策について ③ 放課後学習支援教室(アフタースクールサポート)実施について
8	中村 有秀議員	① 主要町道の歩道に設置されている「植樹柵」の維持管理について ② 使用済みの「カセットボンベ」及び「スプレー缶」の取扱いについて ③ 地方創生の総合戦略策定の基本方針と行程表について
9	米沢 義英議員	① 商業振興について ② 農業振興について ③ 東中中学校の活用について ④ 国民健康保険について ⑤ 防災対策について ⑥ 子育て支援について
10	佐川 典子議員	① 上富良野自治基本条例について ② ひとり親世帯への「みなし寡婦控除」について



環境

—村上 和子 議員—

空き家対策として町独自の補助金や条例の制定を調査実態把握し、状況を見極めて検討する（町長）



町内にある空き家

村上議員 空き家対策として相談窓口の設置は、

また、補助金や条例の制定を。

向山町長 相談窓口は設置していない。しかし、

建物の相談指導は建設水道課建設班で対応し、空き家バンクは総務課企画

財政班が担当している。町のホームページなどで

村上議員 国では平成27

年に空き家対策の推進に関する特別措置法が施行され、倒壊の恐れがある

などの特定空き家に対し

自治体が必要な措置を勧告できるとしている。

町としてこれらの町の判断基準を盛り込んだ条例の制定が必要では。

向山町長 国から特定空

き家などに対する措置のガイドラインが示され、

町としては実態把握に努め、今後、条例化の必要性も含め検討したい。空

き家の利活用などの補助

金も今後空き家の調査を予定しており状況を見極めて検討したい。

教育

放課後学習支援教室

（アフタースクールサポート）の実施を

事例の研究や土曜授業の実施を、

積極的に検討する（教育長）

村上議員

放課後学習支援教室（アフタースクールサポート）の実施を。

子ども達が放課後に学習する機会を作り進んで学習する習慣を身につけ、

考える力や表現する力を

高めてはどうか。大学との連携も考えては。

服部教育長 全国に夏休

みや冬休みの長期休業期間や、放課後1時間程度の学習サポートを実施している事例がある。

町は学校と教育委員会

が連携し学生ボランティアによる人材活用を図り、

長期休業中や土曜、日曜に小学4年生から6年生

を対象にした「ちよこつと学習」など幅広い活動

を実施している。上富良野小学校に開設している

放課後児童クラブでは、

日課の中で宿題や自習な

どの時間を設けている。

また、教育委員会がリー

フレットを作成し、啓発活動も行っている。今後は学習機会の確保と学習

習慣の定着を図るため、

放課後学習支援教室の事例研究や土曜授業の実施

に向けた検討など積極的に進める。



放課後スクールでの子ども達



—中村 有秀 議員—

町道の歩道に設置の「植樹柵」の維持管理は
環境美化と景観を保つため、
早期に策定する（町長）

環境



雑草が生え、剪定もされていない植樹柵

中村議員 主要町道の歩道に「植樹柵」が設置されている。しかし、未剪定の樹木や枯れている樹木、切り株や雑草がみられる。

その一方で、地域や地の皆さまが除草や花を植えるなどの協力で環境美化が行われている。四季彩のまちとしての維持管理は。

向山町長 植樹柵は町道13路線と2緑地帯の37か所に設置している。

維持管理について地域の皆さまの意見を伺いながら早い時期に方策を示したい。

中村議員 町道3路線の181柵を調査したところ、樹木があるのは63柵で3分の1しかない。全体の樹木の状況と今後の対策を伺う。

建設水道課長 植樹柵372か所中、180か所は樹木がなく、補植には多額の費用を要するため、早期に検討し対策を行う。

道内での穴あけ作業中の火災発生は平成25年に63件、平成26年に66件発生している。

町でも平成24年1月にゴミ収集車で火災が発生し、平成27年2月にもぼや火災が発生している。今後火災事故が発生する可能性があり、その対策を伺う。

防災

使用済みのカセットボンベと
スプレー缶の取扱いは
注意喚起を図る（町長）

町広報紙・防災行政無線で

注意喚起を図る（町長）

中村議員

北海道新聞の報道によると本年5月に札幌市でスプレー缶の穴あけ作業中に何らかの原因で引火し、住宅火災により高齢者夫婦が死亡した。

道内での穴あけ作業中の火災発生は平成25年に63件、平成26年に66件発生している。

町でも平成24年1月にゴミ収集車で火災が発生し、平成27年2月にもぼや火災が発生している。今後火災事故が発生する可能性があり、その対策を伺う。

向山町長 爆発などによる火災事故発生にもつながる危険性もあるため、町民の皆さまには「ごみ分別手引き」にて必ず穴をあけるように注意喚起

をあげるように注意喚起

をしている。

引き続き、町広報紙や防災行政無線による注意喚起を行い、缶の穴あけ方法や穴あけ器具についてチラシを作成し、配付する。町民の皆さまのご

協力をお願いしたい。

中村議員 穴あけ作業への不安やできないという住民への対応は。

向山町長 住民の皆さまの相談には消防とも連携し、その都度対応する。



ごみ収集車で火災発生のお知らせとお願い

平成27年2月25日にごみ収集車でぼや発生！

2月25日の不燃ごみの収集時に、パッカー車からカセットボンベが原因と考えられるぼやが発生しました。今回は爆発音があったため、早急に気づきパッカー車からゴミを全て出し消火しました。また、消防に通報し消火したため、大事故にはつながりませんでした。現場からは穴の開いていないカセットボンベが多数発見されました。



平成27年2月 火災発生を伝える町のホームページ



商業

—米沢 義英 議員—

地域経済活性化への振興計画策定を 商業振興計画を策定する（町長）



商店街

米沢議員 多くの商店、企業で景気の回復が見られず、厳しい経営状況におかれています。商工業の活性化のためにも商業振興計画の策定が必要では。
向山町長 商業振興計画の策定は、町でも大変重要ととらえており、今定例会に補正予算案を提出している。

商業振興計画の策定にあたっては、必要な調査を行い、商業の現状を把握し、計画策定にかかわる関係者が認識を共有したうえで、町や商工会、商業者がどのような責務と役割を負って商業活性化のために取り組んでいくのか計画を示したい。策定作業は、関係団体や専門家で構成する策定委員会を設置し、今年度中の計画策定を予定している。

本年度は、GPSによる散布制御機能を有した施肥機6台を導入予定であり、肥料散布域の重複を少なくし、夜間散布を可能にするなど、経費の節減や効率的な作業ができることを期待している。

向山町長 デジタル無線機を媒体とした、GPSの農業利用は、農作業の省力化や機械作業の効率化など、経営規模の拡大や圃場の大区画が進む中、これからの農業経営に期待する効果は大きいと認識している。



農作業をしているトラクター

農業

農作業に自動操舵システムの導入を

調査・研究を進めたい（町長）

米沢議員 農作業における労働力の確保が非常に困難になっている。農業の省力化のためにも、今後、町として農作業を行うトラクターに自動操舵システムの導入を検討すべきでは。

自動操舵システムの導入には多額の整備費用を要することや、山間地が多い農地への対応などの

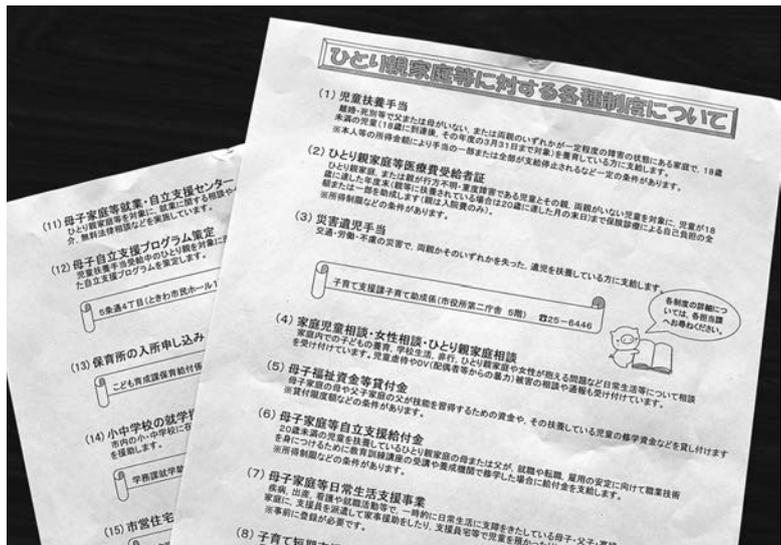
課題があり、農協と協力し、調査・研究を進めたい。



—佐川 典子 議員—

ひとり親世帯の寡婦控除などの充実を 不利益が生じない仕組みを考慮したい (町長)

税金



旭川市が行っている「ひとり親世帯」への支援策

佐川議員 婚姻歴の有無で寡婦控除の対象外となるひとり親世帯に、保育料などを減額する「みなし寡婦控除」を導入する自治体が上川管内でも増えている。他市町村では国の税制度だからと線を引かず、対象から外れた部分の単独施策として対応している。

声に出せない経済的負担や仕事の両立など、ひとり親世帯が安心して暮らすことが重要であり、町の対応を伺う。

向山町長

総務省の見解で所得税法により、それぞれの自治体の裁量に委ねられている。不利益が見受けられた場合のための方法や仕組みを考慮したい。

自治

自治条例の認知度向上と議会検証の推進を 社会教育も考慮し、 更なる協働のまちづくりを進める (町長)

佐川議員

町の憲法である自治基本条例の制定から5年が過ぎた。審議された課題などを伺う。

向山町長

協働のまちづくり推進委員会で検証した提案書などをいただき、町民の認知度が低い事がわかり、以後、出前講座や町長と語るような様々な情報発信をしている。

佐川議員

協働のまちづくりに関するアンケートで自治基本条例を「知っている」と答えた方は24.5%、「知らない」と答えた方が75.5%であった。年齢別で20代は91.7%が「知らない」と答え、

に選挙権が与えられる。中高生の若い世代に認知してもらい、協働のまちづくりを社会教育も含めて考えては。

向山町長

非常に有効でボランティア活動が子どもの行動に影響を与える事があり、底上げが必要

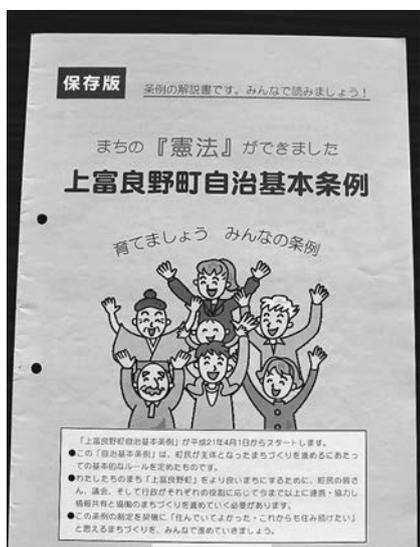
佐川議員

自治基本条例の町に対する意見の反映度で77.8%の町民が「反映されている」とした。議会は「町民の意見や思いを受け止め反映している」と理解している。

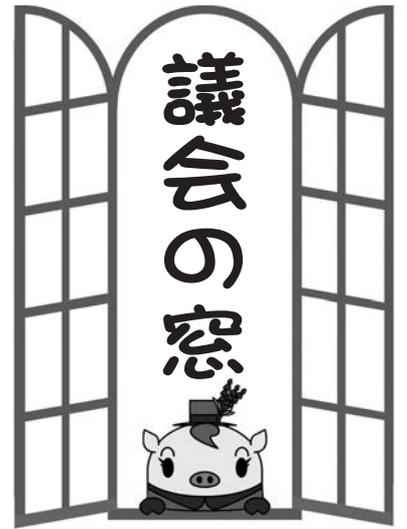
向山町長

議会の取り組みについて申し上げる立場にないものの、「議会の声は行政に反映させている」と理解している。

国では平成28年の参議院選挙から18歳以上の国民



自治基本条例の解説書



- 4月27日 第1回臨時会
全員協議会
議会運営委員会
- 5月27日 第2回臨時会
議会運営委員会
- 6月8日 厚生文教常任委員会
- 9日 総務産建常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 全員協議会
議会広報特別委員会
- 15日 第2回定例会（1日目）
- 16日 第2回定例会（2日目）
議会広報特別委員会
- 23日 富山県朝日町議会（会派）視察来町
- 7月6日 洞爺湖町議会視察来町
- 7日 全道議員研修会・先進事例調査（～8日）
- 10日 議会広報特別委員会
- 13日 第3回臨時会
- 15日 議会広報特別委員会

◆西村議長が北海道町村議会
議長会の会長に就任しました

6月17日に開催された北海道町村議会議長会定期総会において、会長に選任されました。



◆富山県朝日町議会会派が
視察来町しました

6月23日に富山県朝日町議会会派（自民クラブ）が来町し、「観光振興と交流人口の拡大」について調査されました。



◆洞爺湖町議会が視察来町しました

7月6日に洞爺湖町議会が来町し、「自主防災組織の取り組み」について調査されました。

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

9月28日（月）・29日（火）です！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議事室までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

お問い合わせ

上富良野町議会事務局 電話 ☎6992

「町のひと」にインタビュー!!



山谷 圭司さん、律子さん
(東 12 線北 22 号)

自然豊かな東中倍本地区の広大な林の中に、住宅兼アトリエを構える石の彫刻家 山谷圭司さん(60歳)と漆工芸家 山谷律子さん(54歳)、唯一郎くん(小5)のご家族にお話を伺いました。



上富良野との出会い

「林の中で何かやってる奴がいるぞ...。近くの人たちには怪しまれていたかもしれませぬ。」と、ここで仕事を始めたころを懐かしそうに思い出しながら話してくれました。

28年前、ドイツから帰国し、生活と制作の拠点を探していた時、日新ダムの石切り場跡地を見つけたことで上富良野と縁ができました。その後、「上富良野硬石」が上富良野神社の鳥居や小樽運河の護岸などに使われ、石工さんも大勢いたことを知り仕事上でも強い縁を感じたとのことでした。

エづくりのために毎日通ってきたことが思い出されます。それから数年の月日が流れ、アトリエ兼住宅が何とか住めるようになり、平成15年の秋から上富良野町の住民になったとのことでした。



作品を説明する圭司さん

人にも水にも

風景にも感謝!

律子さんは「子どもの送り迎えの不便さ以外、満足しています。」と笑顔で話してくれました。圭司さんは「地域の方たちも私たちを受け入れてくださり、感謝していますよ。」また、「この辺

りの唯一のマイナスポイントである演習場の騒音問題も、行政の理解で対策が進みつつあることにも感謝しています。」

地域の「宝物」

の継承を...

「望むことは？」の問いに、この辺りは松浦武四郎の十勝越えでも知られるとおり古くからの「本家?狩勝峠」の峠下だったそうです。アイヌの方たちの往来は戦後まで続き、その際に残っていた木彫りの熊などの作品が、古くからのお宅に大切に伝わっています。

今のうちに考証に耐える写真撮影やご先祖からの由来話などを聞きとるなど、町としてこれら貴重な作品を守り伝える方策を講じてほしいと望んでいます。
(インタビュー...
中澤副委員長)

あとかぎ

■鹿児島県屋久島町・口永良部島の新岳で爆発的噴火が発生し、全島民が避難を余儀なくされました。

上富良野町も活火山「十勝岳」とどのように向き合っていけばいいのか改めて考えさせられました。

■日本創成会議の人口推計によると、このまま人口減少が進めば2040年頃には896の自治体で消滅する可能性が高いと発表されました。議会としても大いに議論を交わし、人口減少社会の政策立案なども必要であり、今こそ町村議会のあり方が問われています。

■このメンバーでの議会だよりづくりはこの第87号が最後となります。この2年間、どうすれば読んでみたくなる議会だよりになるのか共に知恵と汗を流してくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。議会だより第87号はいかがだったでしょうか。
(村上記)

議会広報特別委員会

委員長	村上 和子
副委員長	中澤 良隆
委員	佐川 典子
	米沢 義英
	徳武 良弘
	中村 有秀